

ジェイアール・イーストユニオン

ジャステイス新潟

不変の正義と民主化された労働運動を求めて！

ジェイアール・イーストユニオン新潟地方本部

発行者 神田 広栄

編集者 教 宣 部

平成 29 年 3 月 8 日 第 20 号

〒950-0086

新潟市中央区花園 1 丁目 6 番 30 号大幸ビル 1-B

Tel. 025-250-6553 JR 041-2490

ジェイアール・イーストユニオン

新潟地方本部

第3回地方委員会



組合員の課題は明確 勝負の年に



新潟地方本部は2月25日、市立中央図書館『ほんぽーと』において第3回の地方委員会を、議長には新潟支部の江口委員を選出し開催しました。

執行部を代表し挨拶に立った神田執行委員長は、「我々は愚直にルールを守り仕事し、理にかなった配分を求めていく」「自身も同意した施策に対し、スト権を背景に交渉することに疑問を感じる」「組合員の課題は明確である。勝負の年にしなければならない」と述べ、中央本部の国井事務局長からは中央の情勢などが述べられました。

執行部からこれまでの経過と当面する活動が報告された後、質疑応答では8名から組織や業務の問題、職場の状況などが発言されました。それらを踏まえ集約答弁に立った池田事務局長は、「我々はこれまでずっとブレることなく活動を続けてきた。その自信をもって前に進んでいこう」と、全員の奮起を促しました。



委員会は「一人ひとりがクリエイターとなり、次世代に継承すべき理念・目的を明確にした運動を展開していく」とした委員会宣言を採択し終了しました。会場の場所柄もあり「団結ガンバロー」の唱和はありませんでしたが、組合員それぞれが「団結」を確認した委員会となりました。



一人ひとりがクリエイターとなり

次世代に継承すべき

理念・目的を明確にした運動を



自らを変える!! 明日を創る!! イーストイノベーション



羽越本線脱線事故

昨年12月17日、新潟地本では執行委員長以下8名で『羽越本線脱線事故』の現場慰霊碑へ献花に赴きました。当日は曇りでしたが風が強く、慰霊碑へ向かうジャンボタクシーが少しあおられ少なからず怖さも感じました。執行委員長の慰霊碑への献花ののち全員で手を合わせ、自らの仕事の責任の重さを再認識するとともに、安全に対する誓いを新たにしました。

安全への誓い



飯山線 大根原踏切事故

2月10日、新潟地本設備部会では飯山線・森宮野原～足滝間の大根原踏切事故現場へ献花に参りました。設備を保守する者は、安全で安心な鉄道をお客様にお届けするとともに、そこに働く者の安全も確保するという使命があります。二度と同じ過ちを繰り返さないように誓いながら、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしました。設備部会は、安全に対する気持ちを新たに仕事に取り組みよう、毎年お参りをさせていただきます。

委員会宣言

本日、私たちは新潟市立中央図書館「ほんぽーと」において、第3回地方委員会を開催し、当面する活動方針を満場一致で決定した。

2017春季生活闘争は、JR連合の中期労働政策ビジョンを基本とし、JR東日本においてはJR連合の代表として、JR東日本のブランド力を更に押し上げるための闘いを組合員一丸となって進めて行くことを確認した。

第一組合である東労組は「格差ベアの是正」を掲げ、ストライキ権の確立をした上で2017春闘をたたかうとした。企業内労働組合としてJR東日本をどのように考えているか疑念を持たざるを得ない。我々が働くJR東日本は、国鉄改革を経てその財産と国民からの支援、また社員が一生懸命働いて今日の30年を迎えると考える。このストライキ権の確立は国鉄改革を思い起こせば、国民の皆さんからの理解、信頼の中でJR労働運動として支援されるのか否かを真剣に考えなければならない。

JR東日本が次の30年に向けてどのように取り組むのか、「仕事づくり」「職場づくり」に大きな課題を抱えたままとなっている現状の把握が出来ているのか甚だ疑問である。それを解決しないで、賃金や労働条件闘争を最前面に掲げたストライキ権の確立は国鉄時代の回帰であり、歴史を繰り返すことになるのではないかと確信する。これからも私たちは、積極的な提言やチェック機能を果たすための資質を磨いていかなければならない。その認識のもと、私たちジェイアール・イーストユニオンは、企業内労働組合と組合民主主義とは何かを常に考え、運動と行動には大義と正義が必要であることを認識している。その上で、これからの行動の基軸となる「イーストイノベーション」を実践して行かなければならない。一人ひとりがクリエイターとなり、次世代に継承すべき理念・目的を明確にした運動を展開していく。

そして業務問題の解決力は圧倒的に他労組を凌駕し、「さすがジェイアール・イーストユニオン」と言われるべく組織を目指していく。こうした私たちの運動理念に賛同できる仲間を作り、組織の拡大が喫緊で、最重要課題と受け止め、更に力強く運動を展開する。

以上、宣言する。

平成29年2月25日 ジェイアール・イーストユニオン新潟地方本部 第3回地方委員会